

【2017年1月1日から2018年12月31日までに飯塚病院へご入院された患者さん、およびご家族の方へ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

【研究タイトル】

固定・変動リスク^{*1}に基づく病棟リスク評価手法^{*2}の開発と病棟リスク管理支援システム^{*3}の設計

*1 この研究における固定・変動リスクとは病棟の看護人員、患者さんの手術後日数や医療・看護必要度のことです。

*2 評価手法開発とは、データを分析しどのような要因について評価をするかを見つける研究です。

*3 病棟リスク管理支援システムとは医療事故低減を目的に患者さんの病棟選択に有益な情報を提供する運用を言います。

【研究背景・目的】

この研究は、入院中に発生した不具合情報等の蓄積されたデータを利活用した病棟の要因を分析し、不具合発生低減を目的に病棟リスク管理支援システムの設計を行うことです。

【情報提供期間】

この研究期間は、2018年1月1日から2021年6月31日までです。

【研究対象】

- ・対象者数 : 40000人/年
- ・対象期間 : 2017年1月1日から2018年12月31日まで
- ・対象者 : 上記期間の入院患者
- ・取得情報 : 在室病棟、入院診療科、

【研究方法】

上記情報の収集を行い、病床選択や病床移動に起因する医療事故のリスクを明らかにしていきます。

【研究対象となる患者さんへの利益・不利益】

利益：本研究により対象者が直接受けることができる利益はありません。しかし、本研究の目的とするところが明らかになると、将来、入院中の医療事故低減につながるものと考えられ、より質の高い医療を提供できる可能性があります。

不利益：本研究は通常の診療により得られた情報のみを用いる研究であり、収集したデータに関しては、匿名化を行って使用しますので、患者さんご本人への直接的な不利益が生じることはありません。

【利益相反について】

本研究は飯塚病院中央検査部、東京大学（工学系研究科 化学システム工学専攻 品質・医療社会システム工学寄附講座）の共同研究として実施するものであり、企業やその他、外部からの資金提供はありません。しかしながら、研究に参加する職員のなかには、この研究以外において外部から研究資金、講演会講師料、旅費等を受けている者もいます。この研究は「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」に基づき飯塚病院倫理委員会の承認を受けて適正に行われます。資金の提供があったとしてもそれが研究の結果に影響を及ぼすことはありません。研究資金が必要な場合は、飯塚病院の研究費、もしくは研究者らの費用で賄われます。

【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

【研究組織】

研究責任者：東京大学 特任教授 水流 聡子

研究分担者：東京大学 主幹研究員 安井 清一

東京大学 修士 山田 博己

飯塚病院医療安全推進室 福村 文雄

【問い合わせ先】

〒820-8505

福岡県飯塚市芳雄町 3-83

飯塚病院 医療安全推進室 福村 文雄

TEL : 0948-22-3800 (代表)